みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

8.国際学術交流室

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2016-03-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00005954

8 国際学術交流室

設置目的

国際学術交流室（英語名Center for International Academic Exchange）は、組織的な国際交流を円滑に進めることを目的にして、2010年４月に設立された。

本館は、創設以来グローバルな視野をもち、積極的に海外の研究機関や研究者と連携、協力しながら研究活動と博物館活動を行ってきた。国際学術交流という点では大学共同利用機関の中でも先駆的な役割を果たしてきたといえるであろう。

20世紀末に始まった情報通信技術革命は、国際的な情報交換のスピードと量を飛躍的に増大させた。その結果、本館の国際的な活動はもはや個人の努力や関係では処理しきれない状態となり、組織的、戦略的な国際交流が求められている。国際学術交流室は、これまで蓄積されてきた海外の研究機関、研究者との関係を活かしつつ、本館がより戦略的、より組織的に国際的な研究連携や共同研究を推進するために、以下のような活動を行っている。

機能

国際的な学術交流の戦略策定

・学術交流のガイドライン策定
・海外の研究機関との研究連携、研究協力の推進についての検討

学術協定の締結および協定に基づく研究交流事業の推進

・学術協定の締結の準備支援、協定書の翻訳・校閲
・学術協定内容についての審議
・協定に基づく研究交流事業の支援
・協定に基づく事業の年度計画書、年度報告書の受付と検討
・国際シンポジウム・国際共同研究・国際連携展示などの支援
・海外からの協定締結の申し出、問い合わせに対する対応

外国人研究者に対する支援

・外国人客員教員、機関研究の外国人共同研究員、海外からの外来研究員などの受け入れの支援
・外国人研究者向けみんぱく利用マニュアル *Guide for Visitors* の作成・改訂

その他国際学術交流に関すること

・広報・展示関連の翻訳・校閲
・英文要覧、英語版HP、*MINPAKU Anthropology Newsletter* の発行
・みんぱくフェローズの名簿のデータ管理、*MINPAKU Anthropology Newsletter* のフェローズへの発送
・みんぱくが発行する刊行物等において使用する英語表記の検討

国際学術交流事業の評価資料のとりまとめ

・国際学術交流事業の業務実績報告書、自己点検報告書等の資料とりまとめ

2014年度活動内容

1）学術協定に基づく活動2013年度報告書ならびに2014年度計画書の確認。
2）研究連携や研究協力のために、海外の研究機関との協定について、調査・準備を進めた。2014年度は、５月にマリ・文化省文化財保護局、７月に米国・北アリゾナ博物館との協定を新規に締結した。
3）2014年度に国際学術交流室を通して行った翻訳校閲件数は以下の通り。
　翻訳　10件　　校閲　70件
4）外国人研究員８名の受け入れ手続きを行った。
5）英語版ホームページを改訂した
6）本館組織の英語名称の作成・変更の検討を行った。
7）*MINPAKU Anthropology Newsletter* を２回発行し、みんぱくフェローズへ発送した。